

■ 嬢恋+キャベツ ■

ほぼ週刊【松村拓也のメールマガジン】第 382 号

こんにちは、松村拓也です。

E-Mail と Facebook で松村拓也の活動についてほぼ毎週お届けしています。

ご意見、ご質問大歓迎です。

オンラインの議論をご希望の方は、気軽に返信ください。

.....

382 目次

1. トピックス：「東京湾に暮らす」を考えるツアー（残席わずか）
2. ブログより：嬢恋+キャベツ
3. 今週のお誘い+今後の予定
4. 地主の学校・販売中
5. アクセスポイント：問い合わせ先
6. このメルマガについて

.....

1. トピックス：「東京湾に暮らす」を考えるツアー（残席わずか）

東京は、世界でも珍しい海に面した首都で、「大河ドラマ：鎌倉殿の 13 人」の舞台にもなった東京湾が、江戸の文化を育ててきました。

ところが明治以降の近代化に伴い、専ら工業や運輸の拠点として開発され、暮らしの場とは縁遠い殺伐とした海辺となってしまいました。

今、地域社会を考えるとき、「そこに暮らすこと」こそが重要です。

僕が事務局長を務める「一般社団法人地域社会圏研究所」では、週末の午後、主宰者の建築家山本理顕と都心をバスで巡る小ツアーを企画しましたので、奮ってご参加ください。

・

【建築家山本理顕と巡る東京湾開発視察会】

東京湾の新しい開発について考えるために、建築家である山本理顕と東京湾を巡ります。

高層マンションが乱立し、新自由主義の原理によってのみ開発されてきた東京湾はこれからどのようになるべきなのか。

東京都民の新しい生活の場としての東京湾についてより深く考えるツアーを開催します。

これから新たな開発地と目されている青海地区からはじまり、山本理顕設計の東雲キャナルコートを見学、ツアーの最後は木造密集地帯として魅力的な景観を残す月島地区に向かいます。

ツアー終了後には交流会と称してもんじゃ焼き店にて東京湾の魅力について語り合う時間を設けられたらと考えております。

・

集合 時間：2022/08/20(土) 13:30-14:00 集合 17:40 解散

集合 場所：「国際展示場」駅ロータリー ※解散場所は月島になります

視察エリア：視察地 1 青海地区（カジノ開発予定地）

視察地2 東雲地区（東雲キャナルコート）

視察地3 月島地区

当日：バスに乗り各地域を巡ります ※小雨決行

持ち物：マスク、熱中症対策の飲料水、日傘、タオルなど

参加費：1500円/名 ※保険料込

二次会：月島もんじゃ焼き店にて交流会を開催します。（参加費 3500円） ※希望者のみ

当日連絡先：090-9830-3669（松村）

・

バスの残席わずか、先着順なので、申し込みはお早めに！

申込、ご質問は、このメールに返信ください。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

2. ブログより：孀恋+キャベツ

8/8(月)~10(水)の3日間、カミさんと一緒に群馬県の「孀恋（つまごい）村」を訪問した。

昨年（一社）ワンフォーワンを設立した友人 Sさんが、「孀恋村」に所有する別荘を拠点に活動を始めたところ、大いに盛り上がりただけでなく村役場の方たちともすっかり親しくなったという。

そこで先月、この訪問を願い出たところ、即座に快諾していただいたのだが、そのころはまだ「北軽（きたかる）の別荘」と呼んでいて、僕も何の疑問も持っていなかった。

ところがその後、「北軽」の呼び名は「孀恋」に変更になり、別荘の住所は「群馬県吾妻郡孀恋村」で、訪問先も「孀恋村役場」と判明した。

これを聞いたカミさんは、「え、つま恋？、静岡の？」と問い返してきた。

これに対し、不覚にもきちんと答えられなかった僕が、その後「孀恋」について学び直したことは言うまでもない。

・

まず、「孀恋村」は「北軽井沢」ではないし、もちろん「静岡のつま恋」でもない。

「軽井沢」は長野県の東端に位置する軽井沢町を中心とする地域の総称で、「北軽井沢」は群馬県に含まれる。その上、群馬県の西端に位置する「孀恋村」の東に隣接する長野原町の南部が、軽井沢の発展に伴い「(大字)北軽井沢」と名付けられ、群馬県側の軽井沢となっている。

そのため、「北軽井沢」に隣接する「孀恋村」の南東部分では、「北軽井沢」を名乗る施設が数多く存在するのも無理はない。

また余談だが、カミさんは友達のバンドに所属してヤマハのポップコン（Popular Music Contest）に参加していたので、ヤマハの「つま恋リゾート」と完全に混同していたようだ。

もちろんこちらは、当時のヤマハ発動機社長川上源一が命名した施設名であり、そもそも地名ではない。

つまり、地名としての「孀恋」は、地域ブランドの「軽井沢」や、施設ブランドの「つま恋」の陰に隠れて、少なくとも我が家では認識されていなかったことになる。

・

それでは「孀恋村」を確認しよう。

村名の「孀恋」は、日本武尊（ヤマトタケルノミコト）が東征からの帰路、鳥居峠に立ち、海の神の怒りを静めるために海に身を投じた愛妻の弟橘媛（オトタチバナヒメ）を「吾孀者耶（あづまはや=ああ、我が妻よ、恋しい〜）」と追慕したという伝説に由来する。

ちなみに郡名などの「吾妻（あがつま）」も同じというから、重みを感じる。

江戸時代には、上州と信州を結ぶ街道が整備され、沿道には宿場が設けられ、大笹には関所も置かれるなど、人馬の往来で賑わったが、天明3年（1783）に浅間山の噴火が浅間山北麓に大きな災害を発生させ、特に鎌原村は犠牲者477名など壊滅的な被害を受けた。

明治22年（1889）の市町村制の施行に伴い、かつての田代・大笹・干俣・大前・門貝・西窪・鎌原・芦生田・今井・袋倉・三原の各村が合併して嬬恋村が誕生し、現在に至るまで廃置分合を行った事がない。

・

という訳で、嬬恋村は少なくとも1889年の成立以後、自主独立を維持している。

僕はこのことを強く念頭において、8/9 嬬恋村観光協会を訪問した。

笑顔で出迎えてくれた事務局長の M さんに対し、僕はまず、嬬恋村と軽井沢がごっちゃになっていて、今回初めてその存在と範囲を認識したことを謝罪した。

すると、なんと、彼は事前に僕のことを S さんから聞いていて、すでに拙著：地主の学校を購入していると言うので、僕は重ねて恐縮した。

同席する地域おこし協力隊の S さんも交えて話していると、M さんも地域おこし協力隊を経て定住を決めた余所者で、三浦市出身だとのこと。

ワンフォーワンの S さんと I さんも三浦半島在住だし、僕も横浜市民なので、余所者同士、大いに盛り上がった。

・

ここからが本題で、まず、「JR 吾妻線の終点は、嬬恋村の大前駅になっているが、ここには村役場だけでなく、何か大事なものがあるのか？」と、失礼な質問をした。

すると、「特に何もありません、JR は吾妻線を長野県の上田に繋げたかったが、お金が無かったようです。」と笑って答えてくれた。

村の人口について尋ねると、かつて長野県との県境にあった小串鉱山が、最盛期には2000人程が住むある種の街を形成していたが、昭和46年（1971年）に閉山した後の村の人口は9500人程度で推移しているとのこと。その一方で、戦後の開拓政策により、キャベツ生産を農業経営の柱として発展し、1966（昭和41）年には夏秋キャベツの野菜指定産地となった。

その後、国営、県営開拓パイロット事業の実施により耕地面積が拡大し、今や、全国的にキャベツの一大産地として名声を博しているが、機械化による効率化が進むため、人口増には寄与していないという。

・

だが、面白いのはここからだ。

一大ブームを巻き起こした「世界の中心で愛を叫ぶ（通称セカチュー）」に触発されて、「キャベツ畑の中心で愛を叫ぶ（通称キャベチュー）」が誕生した。

2004年にクリエイターの小菅 隆太さんがひらめいて、「日本愛妻家協会」を立ち上げ、日本武尊のエピソードと美味しいキャベツが実る広大な畑をつないだのだ。

さらには、天明3年（1783）浅間山大噴火の火山灰が浅間山北麓にもたらした「黒ぼく」という土壌を、キャベツ栽培に改良することにより、極めて良質なキャベツが栽培されるようになったという。

黒ぼくとは、別名「のぼう土」と呼ばれる「ダメな土（のぼうのぼうは、でくのぼう）」で、ウクライナからロシアにかけて分布する肥沃な「黒土」とは別物だ。

こうした地域の神話や自然環境と、キャベツ栽培というビジネスが連結することで、「嬬恋キャベツ」が地域を支える産業となっていく。

地域+ビジネス=産業・・・面白いし、大事だね。

.....

3. 今週+今後の予定

【凡例】◎：申込優先、○：申込必要、×：一般参加不可、下記以外はすべて応相談

■今週の予定

- (火) 08/16 なのに (自宅) 作業日
会議×：21-22時 Mさん MTG (zoom)
- (水) 08/17 なのに (各所) 作業日
会議×：09-10時 いづみ幹事会 (反町)
会議×：21-22時 Mさん MTG (zoom)
- (木) 08/18 なのに (自宅) 作業日
交流◎：13-18時 笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
交流○：18-20時 笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
会議×：21-22時 Mさん MTG (zoom)
- (金) 08/19 なのに (自宅) 作業日
会議×：18-20時 Mさん MTG (真鶴)
- (土) 08/20 なのに (各所) 作業日
交流◎：09-12時 よろず相談会 (笑恵館)
交流○：14-17時 建築家山本理頭と巡る東京湾開発視察会 (青海)
交流○：17-20時 東京湾視察懇親会 (月島)
- (日) 08/21 いづみ (横浜) 作業日
交流◎：09-17時 いづみ PJT オープンデイ、説明会 (反町)
- (月) 08/22 なのに (自宅) 休業日
会議×：21-22時 Mさん MTG (zoom)
会議○：22-23時 八島花文化財団準備室 MTG (zoom)

■定例の予定

- 月曜・毎週 22-23時 ○八島花文化財団準備室 MTG (zoom)
- 火曜・第1 08-09時 ×AR子ども書籍 MTG (zoom)
第2,4 20-21時 ○LR定例営会議 (zoom)
- 水曜・第1 10-12時 ○OforW経営運営会議 (zoom)
- 木曜・第2 15-16時 ×かなこ PJT (zoom)
17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
第3 13-18時 ◎笑恵館なるほどデイ (笑恵館)
18-20時 ○笑恵館完全持ち寄り食事会 (笑恵館)
20-21時 ○一宮庵クラブ運営会議 (成城)
第4 17-19時 ◎笑恵館クラブ運営会議 (笑恵館)
- 金曜・第1 08-09時 ○地主の学校ゼミ (zoom)
- 土曜・毎週 09-17時 ◎よろず相談会 (笑恵館)

第2 12-14時 ×RYUSEN PJT (zoom)

日曜・毎週 09-17時 ◎いづみ PJT オープンデー、説明会 (反町)

第1 10-11時 ×100smile 会議 (zoom)

第4 10-14時 ○名栗の森オーナーシップクラブ月例会 (飯能)

■今後の予定

08/24 会議× : 10-12時 HFA 定例会 (恵比寿)

08/26 交流○ : 08-09時 地主の学校ゼミ (zoom)

08/30-31 出張 : 陸前高田

11/22-24 出張 : 有田集落視察 (和歌山)

松村の予定はこちらで随時公開しています。

<http://nanoni.co.jp/schedule>

.....

4. 地主の学校・販売中

拙著【地主の学校】はこちら

<https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-23339-0.jsp>

セミナー、読書会など気軽にご相談ください。

.....

5. アクセスポイント

松村拓也

メール takuya@nanoni.co.jp

携帯 090-9830-3669

自宅 : 株式会社なのに (取締役・平社員)

〒226-0016 神奈川県横浜市緑区霧が丘 3-15-1

<http://nanoni.co.jp/>

職場 : 一般社団法人日本土地資源協会 (代表理事)

<http://land-resource.org/>

〒157-0073 東京都世田谷区砦 6-27-19 笑恵館

<http://shokeikan.com/>

主な所属団体 :

特手非営利活動法人 HOME-FOR-ALL (事務局長)

<http://www.home-for-all.org/>

一般社団法人地域社会圏研究所 (事務局長)

<https://localrepublic.jp/>

.....

6. このメルマガについて

松村拓也とご縁のあった方に、日々の活動やブログ記事の抜粋などの情報をほぼ毎週お届けします。
参加希望、ご意見、ご質問など、何でもこのメールに返信してください。

バックナンバーはこちら

<http://nanoni.co.jp/magazine/>

メール配信をご希望の方はこちら

<http://eepurl.com/dHjgFX>

まぐまぐ版はこちら

<https://www.mag2.com/m/0001693746>